

技術ノート KGTN 2010081903

現象

サーバ当りの同時利用ユーザ数は 20～25 が目安だと聞いているが、それはハードウェアがネックなのか？
それとも GG の仕様がネックなのか？

説明

様々な条件が絡みますが、最大のネックはハードウェアでも GG でもなく、Windows Server (32bit) のアーキテクチャに起因します。Windows Server (32bit) では、最大 4GB のアドレス空間を 2GB のカーネル空間と 2GB のユーザ空間に割り振っています。カーネル空間は、さらに幾つかの役割毎にメモリが割り振られており、その何れかが枯渇すると BSOD (ブルースクリーン) が発生します。従って、これらが枯渇しないようにメモリのチューニング等を行いますが、全体のメモリ (カーネル空間) は限られておりますので、同時利用ユーザ数が目立って増えることはありません。

補足

Windows Server 2008 R2 (64bit) の環境では、上記のようなメモリ絡みの制約は解消しますが、しかしながらメモリを増やせばユーザ数が増えるというシナリオにはなりません。アプリケーションが動作すればプロセッサを消費しますので、ユーザ数が増えるどこかでプロセッサが過負荷となり、アプリケーションが実用的な速度で動作しなくなります。従って、プロセッサの性能、アプリケーションの負荷、ユーザの利用シナリオなどを十分考慮し、搭載するメモリの量を決定して下さい。

Last reviewed: Mar 15, 2012
Status: DRAFT
Ref: NONE
Copyright © 2010 kitASP Corporation